

二〇〇九年九月三〇日（能勢妙見山参加者八名）

ケーブルカー秋の里山広ごりぬ つくし

御神水口に含めば涼新た "

水琴窟聞えぬ耳に藪蚊刺す うつぎ

爽やかや山気裂きゆくケーブルカー 宏 虎

苔むして参道暗き露葎 わかば

耳あててブナの大樹に秋をきく かれん

木もれ日の山路たどれば木の実降る はく子

昨夜雨の玉のしづくや曼珠沙華 満 天

ブナ林の奈落に秋を聞きにけり "

吟行句会みのる選

二〇〇九年九月三〇日（能勢妙見山参加者八名）